



**中津宮・七夕祭齋行**  
 「むなかた大島七夕祭り」も併せて催行



八月七日、七夕伝説発祥の地といわれる大島・中津宮で七夕祭が斎行された。これに併せ、本年より「元気な島作り事業推進協議会」とのタイアップにより「むなかた大島七夕祭り」を催行し、満天の星を仰ぎロマンに溢れた祭りとなった。

七夕祭当日は、早朝より沖・中両宮奉賛会、敬神婦人部（元気な島作り事業推進協議会他（島内各種団体）の御奉仕により七夕装飾が行なわれ、中津宮周囲・海水浴場・ターミナルへと道路沿いには、七夕飾り一色で彩られ、午後六時頃には浴衣姿の島民や、島外からの参拝者が続々と中津宮へ参集した。

境内では、神賑わいとして「イカ・タコ串焼き」、「ヨーヨー釣り」、「かき氷」、「ビール販売」、「大島名産品の販売」等が開催されると共に、境内及び道路沿いに竹灯が灯され、幻想的な空気に包まれた。

また午後五時五分からは、元気な島作り事業推進協議会の主催で、粗忽家の酔書



人を守る。



夢をつなぐ。



街を見つめる。



暮らしを応援する。

未来を支える、麻生グループ。  
**ASO GROUP**  
 WE DELIVER THE BEST

安心をカタチに、生きがいをデザインする麻生グループ

<http://www.aso-group.jp/>



さんによる「大島七夕奇席」が照海殿で、また港湾緑地公園では、九州管楽合奏団によるアコーディオン演奏が催され観客を魅了した。

午後八時、境内を流れる清流「天の川」を挟んで鎮座する「牽牛社」「織女社」の御前で、厳肅に七夕祭を斎行、参列者はそれぞれの祈りを込めて玉串を捧げた。

祭典後に奉納される恒例の七夕踊りも参加者が多く、大島居を二重の輪で囲んで行なわれ島民、来島者、子供、大人も皆で七夕の夜を過ごした。

午後九時三〇分、大島港より臨時渡船が出港、満天の星空のもと来島者は帰路につき、今年の七夕祭りを無事に終了した。



七月十四日、宗像警察署の呼びかけで、飲酒運転の怖さを体験していただくことと、タクシーやバスの運転手、当大社巫女ら十名が参加し、宗像自動車学校で講習会が実施された。

飲酒前と後に自動車学校内の決められたコースを走行し、アルコールが運転にどのような影響を及ぼすのかを体験した。

女性のノルマは三五〇ml缶ビール二本、日本酒紙コップ一杯を飲酒。

巫女本人曰く、「運転が大胆になった」と、逆車線を行くのは、人形は跳ねるは、典型的な症例を披露してくれた。もし、これが実際の道路だったら、...

飲酒運転撲滅を願い、当大社でも一昨年の幼子三人の命を奪った福岡市東区の事故以来、岡市東区の神酒を日本酒からノンアルコールの甘酒に変更するなどの取り組みを行っている。「交通安全・宗像大社」の担う社会的な責務を改めて考えさせる、今回の講習会であった。

### 巫女が「飲酒運転」を体験



飲酒前と後に自動車学校内の決められたコースを走行し、アルコールが運転にどのような影響を及ぼすのかを体験した。

女性のノルマは三五〇ml缶ビール二本、日本酒紙コップ一杯を飲酒。

巫女本人曰く、「運転が大胆になった」と、逆車線を行くのは、人形は跳ねるは、典型的な症例を披露してくれた。もし、これが実際の道路だったら、...

飲酒運転撲滅を願い、当大社でも一昨年の幼子三人の命を奪った福岡市東区の事故以来、岡市東区の神酒を日本酒からノンアルコールの甘酒に変更するなどの取り組みを行っている。「交通安全・宗像大社」の担う社会的な責務を改めて考えさせる、今回の講習会であった。

## 宗像建設協力会

事務局 〒811-3217 福津市中央5丁目1-20 TEL (0940)42-0323

株式会社 井上建設

〒八二一三二一七  
福津市中央五丁目二〇  
TEL 〇九四〇四二〇三三三  
FAX 〇九四〇四二〇三七七  
井上 重信

株式会社 桜井建設

〒八二一三二一七  
福津市中央二丁目一九三二二〇一  
TEL 〇九四〇四三七八九五  
FAX 〇九四〇四三一五二六  
桜井 良行

株式会社 篠崎建設

〒八二一三二二五  
福津市内殿一〇二一九  
TEL 〇九四〇四二〇六一七  
FAX 〇九四〇四二〇六七五  
篠崎 清

株式会社 田畑建設

〒八二一三二一九  
福津市西福岡三二一五〇  
TEL 〇九四〇四二〇五一三  
FAX 〇九四〇四二二八五  
田畑 博規

株式会社 日新建設

〒八二一三三三一  
宗像市田熊四丁目一三六  
TEL 〇九四〇三六二七三  
FAX 〇九四〇三六二九八  
長尾 榮次

株式会社 松崎組

福岡市中央区荒戸一丁目二一四  
TEL 〇九二七五一一三六九二  
〒八二一三三二五  
福津市宮司浜三二二七  
TEL 〇九四〇五二一一三三〇  
FAX 〇九四〇五二一一三三〇  
松崎 芳勝

松本組建設株式会社

〒八二一三五〇一  
宗像市神湊一〇二〇  
TEL 〇九四〇六二〇〇一六  
FAX 〇九四〇六二〇一六  
松本 真誠



# 夏越の大祓式

酷暑の真つ只中の七月三十一日、強い西日が照りつける午後五時より、夏越の大祓式が神門前にて古儀に則り厳肅に執り行われた。

大祓式は、奈良時代の昔より神祇官の命にて、国家的神事として行われてきた儀式であり、今日では六月

と十二月の晦日に宮中・神宮を始め全国の神社で行われている。当社の夏越大祓はひと月遅れの七月の晦日に夏越祭と併せて行っているが、このような神社は少なくは無いようである。

当日は、早朝より田島地区総代・協力会の皆様の御奉仕で大社近くの堤で茅取り作業が行われ、大量の茅が刈取られた。茅は大社に持帰り、瑞々しい茅ばかりに選別。それを一定の長さ・量に揃え、直径五メートルにも及ぶ見事な大茅輪が奉製され、御本殿前の神門に備え付けられた。

古来、この茅輪を三度潜れば、邪気・災難を祓い去り、暑気にもめげず健やかな生活を送る事が出来ると謂われている。

午後五時、全国から寄せられた紅白の人形が茅輪の前に供えられ宮司以下神職、巫女、氏子崇敬者等約二〇〇名が参列し、神事が開始された。権宮司が「大祓詞」を宣読した後、参列者各々「切麻」で己を祓い、「祓物」に息を吹きかけて切裂き、半年間の罪・穢を祓った。



続いて、宮司以下参列者全員で茅輪を左に廻り

みなつきの夏越の祓へする人は  
千歳の命延ぶといふなり

次に茅輪を右に廻り

思ふこと皆つきねてと麻の葉を  
切りに切りても祓えつるかな

さらに茅輪を左に廻り

宮川の清き流れに禊せば  
折れることの叶わぬはなし

と古歌を奉唱しながら三度潜り、本殿へと参進した。

引き続き本殿にて夏越祭が斎行され、氏子崇敬者と全国から人形を寄せられた方々の無病息災・家内安全を祈念する祝詞が宮司により奏上され、巫女による神楽『豊栄舞』を奉奏し、夏越祭は滞りなく終了した。

TEL 811-4185  
連絡先 宗像市赤間駅前2丁目3番14号  
TEL (0940) 35-1111

宗像タクシー協会

**宗像交通有限公司**  
代表取締役  
塩川 浩一  
福津市津屋崎七一九五  
TEL 〇九四〇・五二〇〇一五

**福栄タクシー有限公司**  
代表取締役  
保井 享  
福津市西福岡二丁目一〇一三  
TEL 〇九四〇・四二〇三三七三

**宗像平和タクシー株式会社**  
代表取締役  
塩川 浩一  
福津市中央三丁目八一一  
TEL 〇九四〇・四二〇〇四〇

**宗像グリーンタクシー有限公司**  
代表取締役  
藤瀬 政敏  
宗像市河東一〇六一  
TEL 〇九四〇・三三三三三〇三

**宗像西鉄タクシー株式会社**  
代表取締役  
小金山 重樹  
宗像市自由ヶ丘二七三  
TEL 〇九四〇・三二四一三一

**新星交通有限公司**  
代表取締役  
森 正彦  
宗像市東郷一丁目五番二号  
TEL 〇九四〇・三六二一三八

**みなとタクシー株式会社(会長)**  
代表取締役  
古野 浩  
宗像市赤間駅前二丁目三番一四号  
TEL 〇九四〇・三三一三三一



現在十四名の巫女が奉職しており、月次祭他の祭典時には御神前で神楽舞を奉奏している。

その研鑽を目的として、七月十一～十四日までの三日間、神社音楽協会より磯部恵子先生をお迎えし、神楽舞(浦安舞・悠久舞)の御指導いただいた。指導を受けることで、自らでは気付かないうちについた癖を修正いただき、形



を崩さないことの大切さを再認識した。

また今年からは「悠久舞」もご指導頂いたが、所作・連繋など習得すべき点が若干あるようので、今後の更なる研鑽を期待したい。

終了後の感想文では「先生の言葉を一人一人が真摯に受けとめ、『御祭神に奉奏する』という気持ちで心掛けて取り組んでいきたい」との感想に頼もしく感じた。



神職は七月末～八月初旬までに、各楽器の講師をお招きし雅楽演奏の研鑽を積んだ。

箏策Ⅱ 崎山庫助氏(志賀海神社権禰宜)、龍笛Ⅱ 御田良知氏、笙Ⅱ 栗原昌久氏(両名とも太宰府天満宮権禰宜)といづれも福岡県を代表する三氏を講師にお招きし、各管三日間ずつ温習を行い、最終日には三管での合奏を行った。

神職の雅楽講習会は今



年で三年目になり、音色は格段に良くなったものの、合奏となるとまだまだ一体感のあるレベルには達していない。現状に満足することなく、更なるレベルアップを目指し、祭典をはじめ神前結婚式などで人々を魅了する音色を奏でられるよう、日々の研鑽に励みたい。

神職・巫女  
「雅楽」と「神楽舞」の講習会を実施



宗像大社御神酒醸造元  
**勝屋酒造合名会社**

社長 山本 博次  
福岡県宗像市赤間4丁目1-10  
TEL(0940)32-3010 FAX(0940)32-4772



地球に優しいひとときを…  
**Genkai Group**

玄海グループ

〒811-3502 福岡県宗像市江口978-52  
本社 TEL 0940-62-0653 FAX 0940-62-1565  
URL <http://www.genkai-g.co.jp>

(有)玄海環境サービス (宗像市.許可業)

- 一般廃棄物収集・運搬
- 浄化槽の維持管理

玄海クリーン(有) (宗像市.委託許可業)

- 一般・産業廃棄物収集・運搬・処理

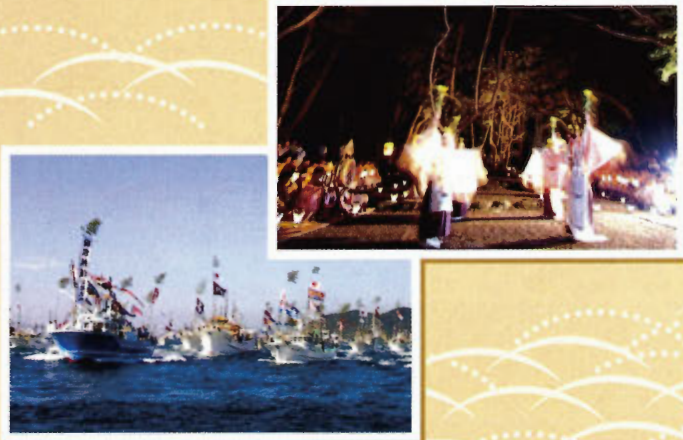
た し ま ほ う じ ょ う え

# 宗像大社 秋季大祭(田島放生会)のご案内

## 宗像大社秋季大祭(田島放生会) 日程

10月1日(水)	海上神幸 (みあれ祭)	9:30	大島港出港
		10:30	神湊港入港
	一日祭 (入御祭)	11:40	於=辺津宮 本殿 主基地方風俗舞 奉奏
10月2日(木)	流鏝馬神事	8:00	於=神門前 参道
	二日祭	11:00	於=辺津宮 本殿 翁 舞 奉奏
10月3日(金)	三日祭	11:00	於=辺津宮 本殿 浦安舞 奉奏
	高宮秋季大祭 第二宮・第三宮 秋季大祭 宗像護国神社 秋季大祭	三日祭終了後引き続き、 各社に分かれ同時斎行 (11:40頃を予定)	
	献茶祭	14:00	於=辺津宮 本殿
	高宮神奈備祭	18:00	於=辺津宮 高宮祭場

当大社最大の神事、秋季大祭を左記日程で斎行致します。  
皆様の御参拝を心よりお待ちしております。



お問い合わせ先 宗像大社 社務所 (0940)62-1311(代)



東国原知事の今後益々の御活躍をお祈り申し上げます。

その後、高向権宮司の案内で神宝館を拝観された。境内を移動中、一般の参拝者から声を掛けられると笑顔で握手や写真撮影を交わされていた。



八月十日午後二時、宮崎県知事東国原英夫氏が当大社を参拝された。

## 東国原知事参拝

地元ホテルでの講演会終了後、飛行機までの三分程の僅かな時間でのご参拝であったが、本殿で正式参拝。

式参拝。



昭和15年頃のナカマル醤油本店

創業嘉永三年(1850年)  
伝統に支えられた宗像神湊の味。  
**ナカマル醤油醸造元**  
宗像市神湊1118  
TEL 0940-62-0003 FAX 0940-62-0353



暮らしの夢を大きくひらく  
**株式会社 城山家具**  
代表取締役社長 寺田 修  
宗像市三郎丸5丁目1-22  
0940-33-5538



の専門  
**上田清商店**  
〒811-3304  
福岡県福津市津屋崎1123  
Tel 0940-52-0148 Fax 0940-52-5488



**宗像農業協同組合**  
本 店 代表理事組合長 寺島 俊基  
宗像市東郷4丁目3番1号 TEL 0940-36-4110  
田島支店 支 店 長 田中 政人  
宗像市深田75-1 TEL 0940-62-1515



宗像大社御神酒  
合資会社 **伊豆本店**  
代表者 伊豆善也  
福岡県宗像市武丸1060  
TEL 0940-32-3001 FAX 0940-33-0512

印刷のことならお気軽にご一報ください  
名刺・封筒・ハガキ 印刷 全紙  
チラシ・製本 etc **中川印刷**  
福岡県福津市津屋崎975 TEL 0940-52-0044 FAX 0940-52-0414



# 第五十三回 中津宮「七夕揮毫会」大島で開催

## 児童ら、約一八〇名が参加

七月二十八日、筑前大島の中津宮で恒例の七夕揮毫会が開催され、約一八〇名の子供達が島での一日を満喫した。

十一年に始められたこの揮毫会は、数ある宗像大社の神賑行事で最も歴史ある大会であり、今年で五十三回目を迎えた。

当日は猛暑の中、今年も大島は勿論、県内各地から多くの子供達が来宮し、限られた時間の中、揮毫会場の大島小学校で、日々の練習の成果を発揮しようとする筆先に神経を集中させ、懸命に各課題に挑んだ。

正午前には全作品が中津宮に提出され、先ずご神前に奉納、参加者の学業成就、健康を祈念する奉告祭を執り行った後、福岡

書道会の先生方によって厳正な審査が行なわれた。

その間、緊張から開放された子供たちは、大島の方々の協力で行われている恒例の「サザエ拾い」や海水浴を楽しみ、島でしか味わうことのない大島の大自然を満喫した。

午後三時から、中津宮で表彰式が行なわれ、葦津禰宜から入賞者に賞状とトロフィーが授与され、午後四時には一同大島の思い出を胸に家路についた。

今年の揮毫会には大島島民をはじめ多くの方々のご協力により、無事開催できました事厚く御礼申し上げます。

### 各受賞者は 下記の通り

福岡県知事賞	門田 理美	小学4年	自由ヶ丘南小学校
福岡県知事賞	川崎 千尋	中学1年	警固中学校
福岡県議長賞	原 愛梨	中学3年	柳城中学校
福岡県議長賞	赤星 広子	小学5年	赤間小学校
福岡県教育委員会賞	植崎 みどり	中学2年	ふた葉中学校
福岡県教育委員会賞	花田 翔平	小学3年	津屋崎小学校
宗像大社宮司賞	高武 里沙	小学6年	津屋崎小学校
宗像大社宮司賞	花田 理沙	中学2年	津屋崎中学校
宗像市長賞	今泉 友子	中学3年	ふた葉中学校
宗像市長賞	福山 朱凜	小学2年	赤間小学校
福津市長賞	川端 隆嗣	小学1年	津屋崎小学校
福津市長賞	永野 麻衣	中学1年	城山中学校

宗像市議長賞2名、福津市議長賞2名、宗像市教育委員会賞2名、福津市教育委員会賞2名、宗像観光協会賞2名、福津市観光協会賞2名、桜石賞9名、福岡書道会賞9名、尚文堂賞10名、ヒロカネ賞15名

宗像・玄海の観光物産品卸

# 田 花田食品株式会社

代表取締役 花田 洋

宗像市田熊6丁目3番27号 TEL 0940-36-5533

出光興産株式会社販売店  
東京海上日動火災保険(株)代理店

# 吉井商事株式会社

代表取締役 吉井 英海

本社 宗像市深田67-7  
TEL 0940-62-0004 FAX 0940-62-3343



創業大正七年 鮮魚・海産物

# やまし

福岡県宗像市神湊1141  
TEL 0940-62-0006(代)  
FAX 0940-62-2143



# ファミリーストア 岡山

岡山 秀雄

福岡県宗像市神湊1000  
TEL 0940-62-0134  
FAX 0940-62-2914



# 遠藤クリーニング

代表 柴村 勲

〒811-3501 宗像市神湊635  
Tel 0940-62-0217

食料品・青果・たばこ

# 田中商店

福岡県宗像市神湊1052  
TEL・FAX 0940-62-0122



(続)

# 浜の寄物

229



いしい ただし

古賀市立歴史資料館では、夏の企画展「七月十八日〜八月三十一日」では、「仮面の告白」と題して、世界の仮面一六〇点を展示した。

縄文時代・東北地方の土製面から、能面はもとより、アフリカ・ネパールからヨーロッパはベニスの仮面など。特にアフリカ仮面は、古賀市の小田昌教氏がアフリカケニアで六回の調査の際に収集されたもので、その他民芸品・織物・呪術人形等も展示した。また遠賀郡・芦屋の田代恒雄氏は、数度にわたってネパール旅行をし、その都度、仮面を収集。展示は一応地域別に分けたが、系統的に分類し、配列したものではない。仮面は面白いとか、パワーみたいなものを、見る人が感じてもらえたらと思つて、こまかな解説はしなかった。

漂着したお面では、宗像大社の翁面(海上出現翁面・復成品)や、高知県・黒潮町の海岸に漂着したプラスチック製面は、直径四〇センチ、額の部分に大極の図があり、韓国製である。

平塚博物館の浜田哲一氏からメールで写真が送ってきたが、沖縄



▲翁面

県・久高島に漂着したもので、仮面は採集されず撮影のみで、その写真を展示していたら、古賀市の人が、自分もこれと同じ物を持つていと言つて持つてみえた。余興用に百円ショップで購入したものという。浜田氏はメールのなかで「不気味な感じがした」と書いている。



小田コレクション

さて仮面を広辞苑で引くと「木・土・紙などで種々の顔の形に作り、顔にかぶるもの、宗教儀礼や演劇に用いる。めん」とある。材料は他に皮、金属、亀の甲羅や動物の頭骨、瓢箪でも作られ、それらと組合わしたのものもある。

仮面は世界中どこ

でもあるわけがなく、かなり限定される。東アジアでは日本、中国、朝鮮などで、東南アジアでは、インドネシア、タイ、フィリピン、ビルマなどにあり、南アジアではインドからヒマラヤの麓のネパール、ブータン、チベットなどである。田代氏によれば、ネパールでは仮面劇や舞踏が多くあり、旅行者を相手に仮面が

売られているという。アフリカの面も、西部海岸沿いの国々、中央部コンゴ盆地周辺、東部高山地帯と大陸東南部のマダガスカル島に分けられる。宗教的儀礼や豊饒の祈願に使われる。アフリカの仮面は原始性や造形的に溢れて欧米のアーティストに大きな影響を与えてた。乾燥地帯では仮面は見られない。北アメリカは北部の少数民族にある。中南米はメキシコ、グアテマラなどに多種多様な仮面がある。ヨーロッパではイギリス、フランス、ドイツ、イタリアでカーニバル用の仮面がある。ドイツ、スイス、オーストリアのアルプス山岳地帯麓の村々にも、冬を追い出し、春を呼ぶ謝肉祭の仮面があるが、容貌の怪奇さは、日本の「なまはげ」と共通するものがある。仮面は、新石器時代の始まり頃に登場する。日本では縄文時代中後期にあらわれ後晩期土偶と共にカミを祭り、豊饒を祈願に使われたと考えられる。



▶縄文時代土製面



展示

## 玄海ホテル旅館組合

玄海国定公園の中心 一風光明媚、生魚料理、宗像大社となり一



魚屋本店 ☎ 〇九四〇 六二一二二二

魚屋別館 ☎ 〇九四〇 六二一三三五

玄海旅館 ☎ 〇九四〇 六二一〇〇一

高嘉旅館 ☎ 〇九四〇 六二一一二二

はなわらび ☎ 〇九四〇 六二一一五六

松風荘 ☎ 〇九四〇 六二一〇二〇

みなと荘 ☎ 〇九四〇 六二一二五五

国民宿舎ひびき ☎ 〇九四〇 六二一二八八

玄海ロイヤルホテル ☎ 〇九四〇 六二一四一一

神湊スカイホテル ☎ 〇九四〇 六二一三八〇

# 第五六五回 宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日メ切

北九州市 八幡西区 吉田ウト子  
 くちなしの匂ふ軒端に濯ぎたる老いのジーパーンひと日播らしぬ  
 くちなしとジーパーン。くちなしの花言葉通り清浄な  
 人柄がしのばれる。結句は他動詞なので「風は揺らし  
 ぬ」であろう。

福岡市 若木台 野間 精一  
 蜜袋を掘りてゆきたる者のあり遊歩道に日々愛で来しものを  
 心なき者の行為。淡々と述べているが、作者の嘆きが  
 私達に手渡しで伝わる。

福岡市 中央 池浦千鶴子  
 戸締りの途中に見上ぐ三日月は昼間のほてりか今宵もあかし  
 今年の異常な暑さを独自の感覚でとらえている。  
 助詞を何箇所か直しました。

宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子  
 言ひ過ぎし言葉を思ひ返しつづ帰る道への紫陽花青し  
 結句の具象で俄然生氣を帯び作者のうたととなった。

宗像市 田久 巻 桔梗  
 高校のころ詠みしとふ癌の友に短歌大会の要項送る  
 生きる意欲をと願う作者と友とをつなぐ天使のよう  
 な大会の要項である。

宗像市 田野 森 甲子  
 しばらくは草取り出来ず荒れ庭に桔梗の蕾まるく膨らむ  
 怪我が病気かなど、さまざまの事を想像される一、二  
 句である。

宗像市 田久 井上 光  
 三十八度線さ迷ひ越えし妻と言ふさ迷ふ夢か魔されてをり  
 六十二年を経ても猶消えることの無い戦いに伴う出来  
 事。いつまでも詠いたいものである。

北九州市 戸畑区 田中ハツセ  
 起きぬけの未だ背筋の伸し間に花の水やり今日も始まる  
 宗像市 日の里 大和美由紀  
 環濠の長く伸びたる花菖草さらさらさらと音の流るる

福岡市 南区 井田有久衣  
 参道に鹿むれをなしゆつくりと人をも恐れずつづらな瞳  
 それぞれ

起きぬけの未だ背筋の伸びぬ間に花の水やり今日が始まる  
 環濠に長く伸びたる花菖草さらさらと流れてをりぬ  
 参道に鹿ゆつくりとむれをなし人を恐れぬつづらな瞳  
 と直して鑑賞しました。

うきは市 浮羽町 向 則正  
 桂林の漓江下りの遊覧船竹の筏の物売り寄り来  
 驚きの連続であったであろう漓江下りの一点景。

宗像市 光岡 一本 照代  
 炎天下ゴルフ楽しみその後は幼き日日のおしゃべりはずみ  
 ゴルフはランドゴルフか、元気な人達である。  
 結句は「はずむ」と終止形にする。

### 選者詠

まだ暗き峡のなだりに鳴きいでて

声すずしかり山のひぐらし

人けなく湯船だだつびろし九州に

台風近づく峡のいで湯は

嵐めく雲のときれし時の間の

ひかりにひとつ法師蟬鳴く



# 第五四〇回 俳句作品集

宗像市 田久 巻 桔梗  
 盃置きて初鯛を聴く夕べ  
 宗像市 日の里 花田いつ枝  
 初挽ぎの枇杷や白磁の皿の上  
 宗像市 平井 占部 詩子  
 熱帯夜モナリザは永久に笑みつづけ  
 宗像市 神湊 永島 紀子  
 訪ふ人もなく凌霄花咲きほこり

### 9月祭事暦

毎月1-15日	月次祭
午前10時~	高宮祭・第三宮祭 第二宮・国神社祭 (1日)
午前11時~	宗像総社祭 ※1日は併せて風鏡祭 豊栄舞奉奏 (15日)
23日	皇霊殿逢祥式 午前10時~
31日	秋季大祭宵宮祭
総社地主祭	午後5時~
宵宮祭	午後6時~

### 編集後記

「野球」はがっかりでしたが、力量やデータ以前に既に差があったようです。韓国はWBCの敗戦以来、国際規格のボールとストライクゾーンの採用を、プロアマチュアに至るまで徹底させたそうです。日本も球界挙げて「世界基準」に取り組みないと、家電メーカーだけでなく、野球でも韓国には追いつけないですよ。ところで「悲願」という言葉、英訳にないそうです。四年間の全てを賭けて臨み、達成される悲願。「君が代」の重厚なメロディーに、太陽のように昇っていく「日の丸」、皆様も涙を堪えた夏だったのではないのでしょうか。(塚)

発行所 宗像大社社務所 宗像 像 会

〒811-3505 福岡県宗像市田島  
 電話 0940-62-1311(代)  
 発行人 葦津幹之  
 編集人 大塚宗延  
 制作 ゼネラルアサヒ  
 印刷 ゼネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共1,000円